

平成28年度「全国学力・学習状況調査」における春日井市全体の結果について

春日井市教育委員会

1 小学校6年生

ア 教科の状況

○状況を見るにあたって

- ・教科の区分別に次の3段階で状況を示す。
 「たいへんよくできている」：正答率80%以上
 「おおむねできている」：正答率50%以上80%未満
 「努力を要する状況である」：正答率50%未満
- ・それぞれの教科で、よくできている内容（○：正答率70%以上）と、努力を要する内容（△：正答率50%未満）の一部を紹介する。

○教科別・区分別状況

国 語	区分	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題
	状況	おおむねできている	おおむねできている
	内容	○学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読んだり、書いたりする。 ○目的に応じて、図と表とを関係付けて読む。 ○用紙全体との関係に注意し、文字の大きさや配列などを決める。 △平仮名で表記されたものをローマ字で正しく書いたり、ローマ字で表記されたものを正しく読んだりする。	○目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読む。 ○目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫する。 △グラフを基に、分かったことを的確に書く。 △話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問する。
算 数	区分	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題
	状況	おおむねできている	努力を要する状況である
	内容	○除数が1より小さいとき、商が被除数より大きくなることを理解している。 ○不等号を理解している。 ○三角形の底辺と高さの関係について理解している。 ○示された場面を適切に読み取り、場面を式に表すことができる。 △1を超える割合を百分率で表す場面において、基準量と比較量の関係を理解している。	○算数の問題場面で見いだした考えを活用して、条件を変更した場合について発展的に考察する。 △日常生活の事象を数理的に捉え、場面を適切な式に表したり、式の意味を具体的な事象と関連付けたりすることで問題を解決する。 △算数の問題場面で見いだしたことを、図形の構成要素に着目して、論理的に考察する。

イ 学習・生活習慣等の状況

○状況を見るにあたって

学習・生活習慣等の状況調査を「生活習慣」「学校・家庭での生活の様子」「自尊意識」「規範意識」「学習の様子」の観点から分析する。全体の傾向（様子）について、よい点（○：肯定

的回答 80%以上または全国平均より 3 ポイント以上高い)、改善が必要な点 (△: 全国平均より 3 ポイント以上低い) について、その代表的なものを紹介する。

全体の傾向 (様子)
<p>【生活習慣】</p> <p>○朝食を毎朝食べている。 ○同じくらいの時刻に起きる。</p> <p>【学校・家庭での生活の様子】</p> <p>○家の手伝いをしている。 ○友だちと話し合うとき、友だちの話や意見を最後まで聞く。 ○学校に行くのは楽しい。 ○友だちに会うのは楽しい。 ○好きな授業がある。 △テレビやDVD等の視聴やテレビゲーム等をする時間が長い。 △家庭での学習時間が短い。(平日・休日) △学校の授業の復習をしていない。</p> <p>【自尊意識】</p> <p>○自分には、よいところがあると思う。 ○物事を最後までやり遂げてうれしかったことがある。</p> <p>【規範意識】</p> <p>○学校のきまりを守っている。 ○友達との約束を守っている。 ○いじめは、どんな理由があってもいけない。 ○人の役に立つ人間になりたい。</p> <p>【学習の様子】</p> <p>○「総合的な学習の時間」の勉強が好き。 ○国語・算数の授業は大切だと思う。 ○話し合う活動では、相手の話を最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えている。 △400字詰め原稿用紙 2～3 枚の感想文や説明文を書くことを苦手としている。</p>

ウ 今後の取組

国 語
<ul style="list-style-type: none"> ・ローマ字の読み書きについては、日本語の音節が子音と母音の組み合わせであることから五十音表と対応させローマ字の規則性を押さえるとともに、コンピュータを使った学習(ローマ字入力など)と関連付けるなど日常的に活用できる場面を設定して指導していく。 ・図表やグラフから分かったことを書くことについては、社会科や算数科等で学習した図表やグラフの読み方を確認し、情報を正しく読み取り、必要な情報について適切な言葉を用いて記述することができるように指導していく。 ・相手の意図を捉えながら聞き、話の転換に沿って質問することについては、インタビューの目的に応じて、相手の意図は何か、自分の予想との違いは何かなどを観点として、相手の話を注意深く聞くことができるように指導していく。
算 数
<ul style="list-style-type: none"> ・百分率で表された場面で、基準量と比較量の関係を正しく捉えることについては、問題場面において何が基準量であるかを捉える場面を設定した上で、比較量が何であるかを捉えさせ、基準量と比較量の関係から割合を捉えることができるように指導していく。 ・示された式について、式の意味や数値の意味を解釈し、合理的に判断し説明することについては、立式するだけでなく、友達が考えた式や示された式について、その式の数値はどこ

から導き出されたものであるのかを考える場面を適宜設けて指導していく。

- ・算数の問題場面で見いだしたことを、図形の構成要素に着目して、論理的に考察することについては、図や式などを用いて問題を解決することにより、児童が互いに図や式の意味を解釈し説明し合う活動を設定し、式の意味について過不足なく説明できているかどうかを児童同士が確認できるように指導していく。

2 中学校3年生

ア 教科の状況

○状況を見るにあたって

- ・教科の区分別に次の3段階で状況を示す。

「たいへんよくできている」：正答率 80%以上

「おおむねできている」：正答率 50%以上 80%未満

「努力を要する状況である」：正答率 50%未満

- ・それぞれの教科で、よくできている内容（○：正答率 60%以上）と、努力を要する内容（△：正答率 50%未満）の一部を紹介する。

○教科別・区分別状況

国 語	区分	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題
	状況	おおむねできている	おおむねできている
	内容	○登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する。 ○全体と部分との関係に注意して話を構成する。 ○文脈に即して漢字を正しく書いたり、読んだりする。 ○語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う。 △文字の形や大きさ、配列に注意して書く。	○文章の中心的な部分と付加的な部分とを読み分け、要旨を捉える。 ○目的に応じて必要な情報を読み取る。 △課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考える。
数 学	区分	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題
	状況	おおむねできている	努力を要する状況である
	内容	○正の数と負の数の加法の計算をする。 ○整式の加法と減法の計算をする。 ○2つの等号で結ばれている方程式が表す関係を読み取り、2つの二元一次方程式で表す。 △垂線の作図の方法について理解している。 △反比例のグラフから式を求める。	○与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、処理する。 △前提となる条件が不足している場合に、加えるべき条件を判断し、それが適している理由を説明する。 △与えられた式を用いて、問題を解決する方法を数学的に説明する。 △図形の証明について、筋道を立てて考え、証明する。

イ 学習・生活習慣等の状況

○状況を見るにあたって

学習・生活習慣等の状況調査を「生活習慣」「学校・家庭での生活の様子」「自尊意識」「規範意識」「学習の様子」の観点から分析する。全体の傾向（様子）について、よい点（○：肯定的回答 80%以上または全国平均より 3 ポイント以上高い）、改善が必要な点（△：全国平均より 3 ポイント以上低い）について、その代表的なものを紹介する。

全体の傾向（様子）

【生活習慣】

○朝食を毎朝食べている。 ○同じくらいの時刻に起きる。

△寝る時刻が遅い。（不規則）

【学校・家庭での生活の様子】

○友だちと話し合うとき、友だちの話や意見を最後まで聞く。 ○学校に行くのは楽しい。

○友だちに会うのは楽しい。 ○好きな授業がある。

○学級のみinnで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある。

○テレビやDVD等の視聴やテレビゲーム等をする時間が短い。

△携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネット等をする時間が長い。

△家庭での学習時間が短い。（休日） △自分で計画を立てて勉強をしていない。

【自尊意識】

○自分には、よいところがあると思う。

○物事を最後までやり遂げてうれしかったことがある。

【規範意識】

○学校の規則を守っている。 ○友達との約束を守っている。

○いじめは、どんな理由があってもいけない。

【学習の様子】

○ノートに授業のめあてやまとめをしっかりと書いている。

○数学ができるようになりたいと思う。

△400字詰め原稿用紙 2～3 枚の感想文や説明文を書くことを苦手としている。

ウ 今後の取組

国 語

- ・文字の形や大きさ、配列に注意して書くことについては、書いたものについて生徒が互いに評価し合う場面を設けて、字形や文字の大きさ、配列など観点を具体的に示した上で、実際に書き直したものを見比べるような活動を取り入れて指導していく。
- ・自ら課題を決め、それを解決するための情報収集の方法を考えることについては、書かれている内容を正しく理解し、新たな疑問や課題の有無について吟味するとともに、日頃から新聞や雑誌、コンピュータや情報ネットワーク、図書館の活用など様々な活動を取り入れて指導していく。

数 学

- ・作図の方法を理解することについては、手順通りの作図の個々の手順で得られる点や線分の

特徴を図形の性質と関連付けて読み取る場面を設定して指導していく。

- ・反比例のグラフから関係を式で表すことについては、グラフから座標の組を読み取り、積が常に一定の値になることをとらえ、グラフの特徴と反比例の一般式を関連付けて指導していく。
- ・与えられた式を用いて、問題を解決する方法を数学的に説明することについては、問題場面を実際に数値を当てはめて計算することを通して正しく把握した上で、得られた式を問題場面と対応させて説明できるように指導していく。
- ・事柄が成り立つ理由を筋道を立てて考え、説明することについては、結論を導くためには何が分かればよいかを明らかにしたり、与えられた条件を整理したりして、着目すべき性質や関係を見だし、理由を筋道を立てて考える活動を取り入れて指導していく。

3 その他

- この調査の結果は、学力の一部である。
- この調査の詳細は、国立教育政策研究所のウェブサイト「全国学力・学習状況調査」により確認できる。

<http://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>